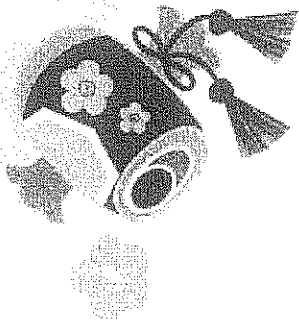


# 冬休みの宿題

## 国語一・国語二



- 読書感想文一枚
- 日記一枚
- 随筆一枚
- 音読カード一枚
- 読解プリント一枚
- 漢字プリント八枚

丸付けをして提出です。





冬休みの思い出を書こう

初め・中・終わりの構成で書きましょら。



さいわい  
随筆を書こう

教科書百九十から百九十五ページを読んでから取り組みましょう。音読の宿題にもなっています。

- ①これまでに出会った忘れられない言葉を、一つ選びましょう。
- ②ここで、どんなふうに、その言葉に出会いましたが。
- ③その言葉に対する、あなたの思いを書きましょう。

# 音読カード



出席番号      番 名前

---

## ☆指定音読

◎よくできた    ○できた    △もう少し

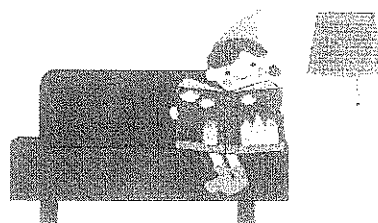
	声の大きさ、速さに 気をつけて読めたか	難しい言葉や漢字の 意味がわかったか	文章の大まかな内容を つかめたか
表現を選ぶ P172～175			
天地の文 P176～177			
未知へ P178～179			
忘れられない言葉 P190～195			
春を待つ冬 P198～199			

※「忘れられない言葉」を音読したあと、作文の宿題に取り組みましょう。

4

## ☆自由音読

月/日	本・ページ	声の大きさ、速さに 気をつけて読めたか	文章の大まかな内容を つかめたか



見ました☺

# 音読カード



出席番号 番号 名前

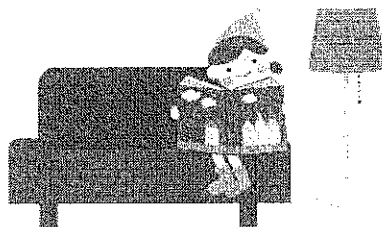
☆指定音読

◎よくできた ○できた △もう少し

	声の大きさ、速さに 気をつけて読めたか	難しい言葉や漢字の 意味がわかったか	文章の大まかな内容を つかめたか
海の命 P200～204L4			
海の命 P204L6～208L6			
海の命 P208L8～211			
海の命 P200～204L4			
海の命 P204L6～208L6			
海の命 P208L8～211			

☆自由音読

月／日	本・ページ	声の大きさ、速さに 気をつけて読めたか	文章の大まかな内容を つかめたか



見ました◎

# 国語

6 筆者のものの見方をどう考え、自分の考えをまとめよう

## 『鳥獣戯画』を読む

136~146

説明文を読んで、答えましよう。

① この絵巻がつくられたのは、今から八百五十年ほど前、平安時代の終わり、平家が天下を取ろうとしていたころだ。『鳥獣戯画』だけではない。この時代には、ほかにもとびきりすぐれた絵巻がいくつも制作され、上手な絵と言葉で、長い物語を実に生き生きと語っている。そして、これら絵巻物に始まり、江戸時代には、絵本（絵入り読み物）や写し絵（幻灯芝居）、昭和時代には、紙芝居、漫画やアニメーションが登場し、子どもだけでなく、大人もおおいに楽しませてきた。十二世紀から今日まで、言葉だけでなく絵の力を使って物語を語るものが、と

② 日本文化の大きな特色なのだ。

十二世紀という大昔に、まるで漫画やアニメのような、こんなに楽しく、とびきりモダンな絵巻物が生み出されたとは、なんとすてきでおどろくべきことだろう。しかも、筆で描かれたひとつひとつの絵が、実に自然でのびのびしている。描いた人はきつと、何物にもとらわれな



い、自由な心をもっていたにちがいない。世界を見渡しても、そのころの絵で、これほど自由闊達なものはどこにも見つからない。描かれてから八百五十年、祖先たちは、幾多の乗転や火災のたびに救い出し、そのせいで一部が失われたり破れたりしたにせよ、この絵巻物を大切に保存し、私たちに伝えてくれた。『鳥獣戯画』は、だから、国宝であるだけでなく、人類の宝なのだ。

『鳥獣戯画』を読む 国語 光村図書 国語 21 (136~146)

① 「この絵巻」がつくられたのは、今から何年ほど前のどんな時代のことですか。

今から ( ) 年ほど前、 ( ) が天下を取ろうとしていたころ。

② 「江戸時代」と「昭和時代」に登場したものを、から全て選んで記号を書きましよう。

② ( ) ③ ( )

- ア 写し絵 イ アニメーション ウ 物語
- エ 紙芝居 オ 漫画 カ 絵本

③ 「日本文化の大きな特色」とはどのよつなことですか。一つに○を付けましよう。

- ( ) 十二世紀という時代だけに、絵を使って物語を語るものが登場したということ。
- ( ) 絵と言葉の力を使って物語を語るものが、大昔からとぎれず続いているということ。
- ( ) 江戸時代になるまで、絵の力を使って物語を語るものが生み出されなかつたということ。

6

④ 筆者は、『鳥獣戯画』をどんな絵巻物だと述べていますか。

まるで漫画や ( ) のよつな、楽しく、とびきり ( ) な絵巻物。

⑤ 筆者は、『鳥獣戯画』を描いた人は、どんな心をもつていたと考えていますか。

( )

⑥ 筆者が、『鳥獣戯画』を「国宝であるだけでなく、人類の宝」だと考えるのはなぜですか。一つに○を付けましよう。

- ( ) 自由闊達さという点で、世界の他の作品に大きなえいきようをあたえた作品だから。
- ( ) 十二世紀にできたものとしては世界でも他にない自由闊達な作品だから。
- ( ) 祖先が大切に守り、伝えてくれた作品だから。
- ( ) 大昔から、きず一つなく伝わってきた作品だから。

# 国語

## やまなし

□108~118

物語文を読んで、答えまじらう。

魚が、今度はそこから中の黄金の光をまるつき

りちやくちやにして、おまけに自分は鉄色に変

に底光りして、また上の方へ上りました。

「お魚は、なぜあ行ったり来たりするの。」

弟のかが、まぶしそうに目を動かしながらたず

ねました。

「何が悪いことをしてるんだよ。」

「取ってるんだよ。」

「うん。」

そのお魚が、また上からもどつ

てきました。今度はゆくり落ち

着いて、ひれも尾も動かさず、た

だ水にだけ流されながら、お口を

輪のように円くしてやって来ました。そのかげは

黒く静かに底の光のあみの上をすべりました。

「お魚は……。」

そのときです。にわかに天井に白いあわが立っ

て、青光りのまるできらきらする鉄砲だまのよう

なものが、いきなり飛びこんできました。

兄さんのかには、はつきりとその青いもの

が、コンパスのように黒くどがっているのも見ま

した。と思ううちに、魚の白い腹がきらつと光つ

てへんひらがえり、上の方へ上つたようにした

が、それつきりも青いものも魚の形も見えず、

光の黄金のあみはゆらゆらゆれ、あわはつぶつ

流れました。

二ひきはまるで声も出さず、居すくまっしてしま

ました。

お父さんのかが出てきました。

「どうしたい。じぶらふるえているじゃないか。」

「お父さん、今、おかしなものが来たよ。」

「どんなものだ。」

「青くてね、光るんだよ。はじが、こんなに黒く

どがってるの。それが来たら、お魚が上へ上っ

ていったよ。」

「そいつの目が赤かつたかい。」

「分らない。」

「ふうん。しかし、そいつは鳥だよ。かわせみと

いんだ。だいじょうぶだ、安心しろ。おれた

ちは構わないんだから。」

「お父さん、お魚はどこへ行ったの。」

「魚かい。魚はこわい所へ行った。」

「こわいよ、お父さん。」

「やまなし」宮沢賢治『風説』六年三月十三日

① 「上の方へ上りました。」「上からまどつてまじら

だ。」とおりますが、そのときの魚の様子をそれぞれ

に書きまじらう。

② ( )

③ 兄さんのかには、魚が行ったり来たりする理由を、

どのとつに話してまじらう。

④ ( )

⑤ 場面の様子が大きく変わるの、どの段落ですか。

その段落の初めの一文を書きぬきまじらう。

( )

⑦ 「天井」とは、なんのことですか。当てはまる言

葉を書きまじらう。

川の ( )

( ) から見た

⑧ 「青いもの」について答えまじらう。

( ) 「青いもの」をくわしく表している部分を、文

章中から書きぬきまじらう。

( )

⑨ お父さんのかには、「青いもの」の正体をな

んだと言っていますか。

⑩ 魚の白い腹がきらつと光つてへんひらがえり、

上の方へ上つた」とは、「青いもの」が魚をどうし

たことを表していますか。

( )

⑪ この文章で書かれているのは、川の中のどのよう

な様子ですか。一つに○を付けまじらう。

( )

( )

( )

( )

( )

( )

( )

( )

( )

( )

( )

( )

( )

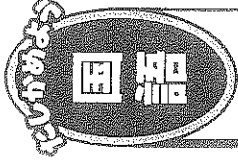
( )

( )

( )

( )





# カードケース

46~31

nm27ra01

漢字を書きまじりなさい。(~~~~は、送り仮名も書きまじりなさい。)

①  を切る。

② 昨日の  飯。

③ 庭に土を  。

④  を張る。

⑤ 皿を  づける。

⑥ 頭が  。

⑦  の新聞。

⑧ 父が会社に  する。

⑨  道をよけて通る。

⑩ 母の  が見える。

ゆい | 敷居の形をまじり。

単語 国語

時計の時間と心の時間

032~44

mm271a602

漢字を書きまじりな。 (~~~~は送り仮名を書きまじりな。)

平仮名を書きまじりな。

①

身近な

sonnigai

②

友人の話し

kanngekisuru

③

鏡に顔を

umimata

④

が実験

kantanshiken

⑤

をたく

tsukue

⑥

話

hishashinwa

⑦

名前を

namena

⑧

文章の

dankuraku

⑨

の作品

watashi

⑩

な関係

missetsu

9

国語

森く

045-73

nmm27tet603

◆ 漢字を書きまじめて。(~~~~は、送り仮名も書きまじめて。)

① くじらが  をかく。

② 広い  はま。

③  が山をおおっている。

④ 計画に  。

⑤ 日が  。

⑥ しずくが  。

⑦ 大きな  が空く。

⑧ 動物の  。

⑨  自然。

⑩ 読みたい本を  。

わが国を愛する気持ち。

/0



こんにちは、  
私たちの町へ

074-83

mm27ra604

漢字を書きまじりて。 (は、送り仮名を書きまじりて。)

かいたしを確かめまじりて。

① 友人を  
たずねる。

② 計画を  
すいしん  
する。

③ 勉強を  
かうせん  
する。

④ 品物の  
いちらん  
を作る。

⑤ からの  
うらぐち  
出る。

⑥ ごとく  
かい  
をとく。

⑦ けんぽう  
を  
定める。

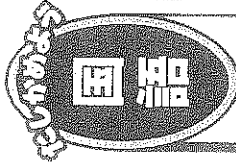
⑧ さいち  
で  
表す。

⑨ 野菜を  
きざか  
。

⑩ 指示に  
したかう  
。

Eight empty rectangular boxes for writing answers, arranged horizontally.

//



未来がよりよくなるために

CD 84-107

mm27ua605

漢字を書きまじらな。 (は、送り仮名も書きまじらな。)

わに一整理なめまじらな。

① 海外の人と  を深める。

②  な作業。

③ 本を  する。

④  に広がる。

⑤ 一列に  。

⑥ 手の  が治る。

⑦  建築家。

⑧ 国連に  する。

⑨ 父を  する。

⑩  行く。

国語

やまなし

108~133

ran27ra606

漢字を書きまじり。(~~~~は送り仮名を書きまじり。)

かひーと漢字かぬまじり。

① 詩を  
する。

~~~~

② 紙が二  
ある。

~~~~

③ を立てる。

~~~~

④ 雨が  
ふる。

~~~~

⑤ 毛糸が  
ある。

~~~~

⑥ 長い木の  
ぼう。

~~~~

⑦ を測る。

~~~~

⑧ 部屋。

~~~~

⑨ を作る。

~~~~

⑩ 本を  
とじる。

~~~~

~~~~

~~~~

~~~~

~~~~

~~~~

~~~~

~~~~

~~~~

~~~~

~~~~



国語

「棉山伏」ヒンガシ

156~175

am27ra608

- ⑩ ⑩ 思いの  ほか よい。
- ⑨ ⑨ 書店で  やう  し を買う。
- ⑧ ⑧ 楽器を  えん  そう する。
- ⑦ ⑦  こと なる意見。
- ⑥ ⑥  はい  く を作る。
- ⑤ ⑤ 布を青く  そめる  る。
- ④ ④ 祖母の  かん  びやう をする。
- ③ ③ 返事に  こたへ  する。
- ② ② 手紙が  てがみ  が。
- ① ①  じ  こ しようかいをする。

◆ 漢字を書きまじらう。(~~~~は、送り仮名を書きまじらう。)

□の1枚だけかきまじらう。

15





# やまなし

語

5 自分の感じたことを、朗読で表現しよう

□108~118

物語文を読んで、答えよう。

魚が、今度はそこから中の黄金の光をまるつきりくちやくちやくにして、おまけに自分は鉄色に変に底光りして、また上の方へ上りました。

「お魚は、なぜあち行ったり来たりの。」

串のかにが、まぶしそうに目を動かしながらたすねました。

「何か悪いことをしてるんだよ。」

「取ってるんだよ。」

「取ってるの。」

「うん。」

そのお魚が、また上からもどってきた。今度はゆっくり落ち着いて、ひれも尾も動かさず、ただ水にだけ流されながら、お口を輪のように円くしてやって来ました。そのがけは、黒く静かに底の光のあみの上をすべりました。

「お魚は……。」

そのときです。にわかには、白いお魚が立つて、青光りのまるでぎらぎらする鉄砲だまのように、いきなり飛びこんできました。

なものが、いさぎなり飛びこんできました。兄さんのかには、はつきりとその青いもの先が、コンパスのように黒くどがっているも見えました。と思いうちに、魚の白い腹がぎらぎらと光っていました。てべんひるがえり、上の方へ上ったようでした。が、それつきりも青いものも魚の形も見えず、光の黄金のおみはゆらゆらゆれ、おわはつぶつぶ流れました。

二ひきはまるで声も出さず、居すくまってしまうました。

お父さんのかにが出てきました。

「どうしたい、ぶるぶるえているじゃないか。」

「お父さん、今、おかしなものが来たよ。」

「どんなものだ。」

「青くてね、光るんだよ。はじが、こんなに黒くどがってるの。それが来たら、お魚が上へ上っていったよ。」

「そいつの目が赤かったかい。」

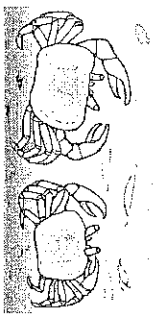
「分らない。」

「ふうん。しかし、そいつは鳥だよ。かわせみと違うんだ。だいたいどうだ、安心しろ。おれたちは構わないんだから。」

「お父さん、お魚はどこへ行ったの。」

「魚かい。魚はこわい所へ行った。」

「こわいよ、お父さん。」



1 「上の方へ上りました。」、「上からもどってきた」とありましたが、そのときの魚の様子をそれだけ書きましよう。

2 兄さんのかには、魚が行ったり来たりの理由を、どのとくに話していますか。

3 場面の様子が大きく変わるのは、どの段落ですか。その段落の初めの一文を書きましよう。

4 「天井」とは、なんのことですか。当てはまる言葉を書きましよう。

5 「青いもの」をくわしく表している部分を、文中から書きぬきましよう。

6 「魚の白い腹がぎらぎらと光ってべんひるがえり、上の方へ上った」とは、「青いもの」が魚をどうしただことを表していますか。

7 この文章で書かれているのは、川の中のどのような様子ですが、一つに○を付けてましよう。

8 「魚を（ ）上の方へ連れていった。」( )に、( )をいれましよう。

9 「魚の白い腹がぎらぎらと光ってべんひるがえり、上の方へ上った」とは、「青いもの」が魚をどうしただことを表していますか。

10 「上の方へ上りました。」、「上からもどってきた」とありましたが、そのときの魚の様子をそれだけ書きましよう。

11 「魚の白い腹がぎらぎらと光ってべんひるがえり、上の方へ上った」とは、「青いもの」が魚をどうしただことを表していますか。

文中から書きぬきましよう。

「青いもの」をくわしく表している部分を、文中から書きぬきましよう。

青	光	り	の	ま	る	て	ぎ	ら	ぎ
ら	す	る	鉄	砲	だ	ま	の	よ	う

「お父さんのかには、「青いもの」の正体をなんだと言っていますか。

か	わ	せ	み
---	---	---	---

17

12 「魚を（ ）上の方へ連れていった。」( )に、( )をいれましよう。

13 「魚の白い腹がぎらぎらと光ってべんひるがえり、上の方へ上った」とは、「青いもの」が魚をどうしただことを表していますか。

14 場面の様子が大きく変わるのは、どの段落ですか。その段落の初めの一文を書きましよう。

15 「天井」とは、なんのことですか。当てはまる言葉を書きましよう。

16 「魚の白い腹がぎらぎらと光ってべんひるがえり、上の方へ上った」とは、「青いもの」が魚をどうしただことを表していますか。

17 「上の方へ上りました。」、「上からもどってきた」とありましたが、そのときの魚の様子をそれだけ書きましよう。

18 「魚の白い腹がぎらぎらと光ってべんひるがえり、上の方へ上った」とは、「青いもの」が魚をどうしただことを表していますか。

# 国語

6 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう

## 『鳥獣戯画』を読む

□136~146

説明文を読んで、答えましょう。

① この絵巻がつくられたのは、今から八百五十年ほど前、平安時代の終わり、平家が天下を取ろうとしていたころだ。『鳥獣戯画』だけではない。この時代には、ほかにもとびきりすぐれた絵巻がいくつも制作され、上手な絵と言葉で、長い物語を実に生き生きと語っている。そして、これら絵巻物に始まり、江戸時代には、絵本（絵入り読み物）や写し絵（ワシエ 幻灯芝居）、昭和時代には、紙芝居、漫画やアニメーションが登場し、子どもだけでなく、大人もおおいに楽しませてきた。十二世紀から今

日まで、言葉だけでなく絵の力を使って物語を語るものが、とぎれることなく続いているのは、

② 日本文化の大きな特色なのだ。

十二世紀という太古に、まるで漫画やアニメのような、こんなに楽しく、とびきりモダンな絵巻物が生み出されたとは、なんとすてきでおどろくべきことだろう。しかも、筆で描かれたひとつひとつの絵が、実に自然でのびのびしている。描いた人はきっと、何物にもとらわれな

い、自由な心をもっていたにちがいない。世界を見渡しても、そのころの絵で、これほど自由闊達なものはどこにも見つからない。描かれてから八百五十年、祖先たちは、幾多の寒戦や火災のたびに救い出し、そのせいで一部が失われたり破れたりしたにせよ、この絵巻物を大切に保存し、私たちに伝えてくれた。『鳥獣戯画』は、だから、国宝であるだけでなく、人類の宝なのだ。



『鳥獣戯画』も読む 鳥獣戯画（光村図書「国語」六年40〜42ページ）

① 「この絵巻」がつくられたのは、今から何年ほど前のどんな時代のことですか。

空想の国 最初の一文に答かれています。

今から（八百五十）年ほど前、（平家）が天下を取ろうとしていたころ。

② 「江戸時代」と「昭和時代」に登場したものを、から全て選んで、記号を書きましよう。

②（アカ） ③（イエオ）

ア	写し絵	イ	アニメーション	ウ	物語
エ	紙芝居	オ	漫画	カ	絵本

③ 「日本文化の大きな特色」とはどのようなことですか。二つに○を付けましよう。

空想の国 それぞれ「江戸時代」「昭和時代」の後の欄から書きましよう。

- ( ) 十二世紀という時代にだけ、絵を使って物語を語るものが登場したということ。
- (○) 絵と言葉の力を使って物語を語るものが、太古からとぎれず続いているということ。
- ( ) 江戸時代になるまで、絵の力を使って物語を語るものが生み出されなかったということ。

④ 筆者は、『鳥獣戯画』をどんな絵巻物だと述べていますか。

空想の国 筆者は、十二世紀に『鳥獣戯画』が生み出されたことを、書き添えてお答えください。

まるで漫画や（アニメ）のような、楽しく、とびきり（モダン）な絵巻物。

⑤ 筆者は、『鳥獣戯画』を描いた人は、どんな心をもっていたと考えていますか。

空想の国 描いた人はきっと「……」と語りましよう。

（何物にもとらわれな、自由な心。）

⑥ 筆者が、『鳥獣戯画』を「国宝であるだけでなく、人類の宝」だと考えるのはなぜですか。二つに○を付けましよう。

空想の国 題詞「だから」と語りましよう。

- ( ) 自由闊達さという点で、世界の他の作品に大きなえいきょうをあたえた作品だから。
- (○) 十二世紀にできたものとしては世界でも他にない自由闊達な作品だから。
- (○) 祖先が大切に守り、伝えてくれた作品だから。
- ( ) 太古から、ぎす一つなく伝わってきた作品だから。

国語 森へ  
 国語 森へ  
 名 期

漢字を書きまじらして。(1は消し線を引いてください)

- ① くじらが潮をふく。
- ② 広い砂はま。
- ③ 樹林が山をおおっている。
- ④ 計画に浴う。
- ⑤ 日が暮れる。
- ⑥ しずくが垂れる。
- ⑦ 大きな穴が空く。
- ⑧ 動物の骨。
- ⑨ 厳しい自然。
- ⑩ 読みたい本を探す。

国語 たのしみ  
 国語 たのしみ  
 名 期

漢字を書きまじらして。(1は消し線を引いてください)

- ① 友人を訪ねる。
- ② 計画を推進する。
- ③ 勉強を優先する。
- ④ 品物の一覧を作る。
- ⑤ 裏口から出る。
- ⑥ 誤解をなくする。
- ⑦ 憲法を定める。
- ⑧ 数値を算出する。
- ⑨ 野菜を刻む。
- ⑩ 指先に従う。

国語 カリーナス  
 国語 カリーナス  
 名 期

漢字を書きまじらして。(1は消し線を引いてください)

- ① 電源を切る。
- ② 昨日の晩ご飯。
- ③ 庭に土を盛る。
- ④ 胸を張る。
- ⑤ 皿を片づける。
- ⑥ 頭が痛い。
- ⑦ 翌朝の新聞。
- ⑧ 父が会社に出勤する。
- ⑨ 危ない道をつけて通る。
- ⑩ 母の姿が見える。

国語 時計の時間と心の時間  
 国語 時計の時間と心の時間  
 名 期

漢字を書きまじらして。(1は消し線を引いてください)

- ① 身近な存在。
- ② 友人の話を感動させる。
- ③ 鏡に顔を映す。
- ④ 簡単な実験。
- ⑤ 机をたたく。
- ⑥ 難しい話。
- ⑦ 名前を呼ぶ。
- ⑧ 文章の段落。
- ⑨ 私自身の作品。
- ⑩ 密接な関係。

特別 日語 だれかめすと

国語 未来がよくなるために

漢字を書きましよう。(一は読み仮名を書きましよう)

- ① 海外の人と **親善** を深める。
- ② **単純** な作業。
- ③ 本を **熟読** する。
- ④ **縦横** に広がる。
- ⑤ 列に **並心** 。
- ⑥ 手の **傷** が治る。
- ⑦ **若い** 建築家。
- ⑧ 冒険に **加盟** する。
- ⑨ 父を **尊敬** する。
- ⑩ **郵便局** へ行く。

特別 日語 だれかめすと

国語 やまなし

漢字を書きましよう。(一は読み仮名を書きましよう)

- ① 詩を **朗読** する。
- ② 紙が **二枚** ある。
- ③ **腹** を立てる。
- ④ 雨が **降る** 。
- ⑤ 毛糸が **縮む** 。
- ⑥ 長い木の **棒** 。
- ⑦ **寸法** を測る。
- ⑧ **暖かい** 部屋。
- ⑨ **劇団** を作る。
- ⑩ 本を **閉じる** 。

特別 日語 だれかめすと

国語 漫画や小説を読む

漢字を書きましよう。(一は読み仮名を書きましよう)

- ① 心が **乱れる** 。
- ② ひと **筋** の光がさす。
- ③ 広い **背中** 。
- ④ **穀物** を育てる。
- ⑤ 衣類を **収納** する。
- ⑥ 試合が **延長戦** に入る。
- ⑦ 墓前に花を **供える** 。
- ⑧ **諸国** を旅する。
- ⑨ 大勢の **観衆** がつかける。
- ⑩ **改革** を進める。

特別 日語 だれかめすと

国語 柳田泉のしりし

漢字を書きましよう。(一は読み仮名を書きましよう)

- ① **自己** しょうかいをする。
- ② 手紙が **届く** 。
- ③ 送事に **困る** 。
- ④ 祖母の **看病** をする。
- ⑤ 布を骨く **染める** 。
- ⑥ **俳句** を作る。
- ⑦ **異** なる意見。
- ⑧ 楽器を **演奏** する。
- ⑨ 書店で **雑誌** を買う。
- ⑩ 思いの **外** よい。

